

会社のイメージアップを

新入社員を迎える、入社式での社長、重役、幹部のあいさつは、社会への第一歩をふみ出さんとしている社員に、まず会社のイメージアップをはかり、職業意識をもたせるようにする必要があります。したがって、あいさつの内容も会社の概況、社史、創立者に関するエピソード、会社の企業に対する所信、企業の現況と将来性などについて話材を選ぶようにします。また先輩として、後輩の新入社員に話をするときは、入社時の自分のことなどもふくめて話をすれば、新入社員の緊張感をときほぐすこともできます。

新入社員の答辞は社長、重役のあいさつへのお礼と、社員としての抱負などを話します。

新入社員の心がまえ

学生時代とちがって、職場は働くところ、生産の場なのでから社会人としての責任と協調性が要求されます。新入社員としては少なくとも次のようなことは心がけるべきです。

- 1 社業の全体について知り、自分の分担の仕事を理解する
- 2 社風になれる
- 3 仕事には全精神を集中する
- 4 勤務は規律を守り、諸届けは前もって出すようにする
- 5 公私の別をはっきり
- 6 上役、同僚、来客に対する言葉づかいは正しく、話は順序だてて

以上のようなことは、日常の勤務の中で常に心がけ、一目も早く自分の判断で仕事を処理できるようになることです。